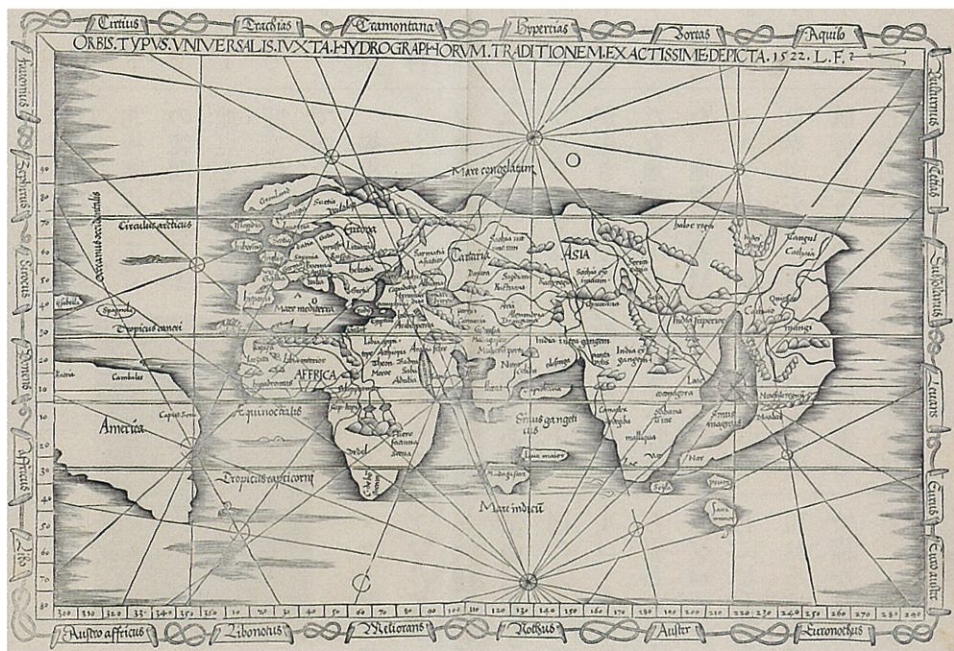


# やまとの名品 天理図書館



## せかいす フリシウス「世界図」

(フリシウス版プトレマイオス『地理学』所収)

シュトラスブルク 1522年刊

縦40.3cm 横54.9cm

プトレマイオスは、八三年頃から一六八年頃にアレクサンドリアで活躍した天文学者、数学者、地理学者である。中世ヨーロッパでは忘れ去られた人物であり、一四〇六年にプトレマイオス『地理学』がギリシア語からラテン語訳されるなどして再び知られるようになった。

中世ヨーロッパの世界図は、東の方角を上にして最上部にエデンの園を、その下に地中海を中心にヨーロッパ、アジア、アフリカを描くキリスト教の世界観であった。この世界観を一変させたのがプトレマイオスの『地理学』で、東はインドシナ半島から西はスペインまで、南

は赤道から北は北極圏入りまでの範囲の約八千地点を緯度と経度で示したものである。

掲出の「世界図」は、ドイツ・シユトラスブルクのL. フリシウスが一五二二年に出版した『地理学』に収めた地図である。フリシウスは、プトレマイオスが生きていた時代の世界図に新たな地理学上の知識を描き加えた。地理学者M・ヴァルトゼーミュラーが一五一三年に描いた世界図から、南アメリカに四度航海してその地が新大陸であると表明したアメリカ・ヴェスプ



ッチの名に因みアメリカを記したのがそれで、一四八八年に喜望峰を発見したバルトロ

メウ・ディアスの航海からは、アフリカをインド洋に回航し得る大陸として描いた。Cathai (中国) (Mangi (元の時代の南中国の人々、地域の呼称) は、マルコ・ポーロ『東方見聞録』から記されたものである。黄金の国ジバングは、Cathaiの東海上に七千数百の小島に囲まれて現れるはずであるが、図域の外で描かれていない。

(天理図書館 神崎順一)

天理図書館のお知らせ Tel: 0743-63-9200 <https://www.tcl.gr.jp/>

◆平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)

○12月の休館日:24日 年末年始:12月27日~1月6日

(本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)